

## 第3回伊万里市立学校規模適正化協議会会議録

1 日 時 令和2年1月24日(金)  
開会 14時00分  
閉会 15時30分

2 場 所 大会議室

3 出 席 25名

4 欠 席 2名

No.	氏 名	出席	No.	氏 名	出席	No.	氏 名	出席
1	上野 景三	○	10	山口 知子	○	19	清水 正彰	○
2	墨谷 誠一	○	11	小杉 道久	○	20	黒川 敦子	○
3	坂本 浩幸	欠	12	達 信子	○	21	岩野 一	○
4	坂本 和人	○	13	掛園 真樹	○	22	岩永 孝雄	○
5	前田 勉	○	14	石井 司朗	○	23	森 俊介	○
6	松本 啓二	○	15	松尾 哲司	○	24	川内 幸人	○
7	松尾 千穂	欠	16	田中 啓三	○	25	松尾 正司	○
8	西 靖幸	○	17	福地 佳野	○	26	西田 武利	○
9	田中 真紀	○	18	口石 さおり	○	27	鴨川 幸司	○

議事録署名者 11番 小杉 道久

9番 田中 真紀

## 5 事務局

職 名	氏 名	職 名	氏 名
教 育 長	松 本 定	教 育 部 長	中 野 大 成
教 育 副 部 長	梶 原 貴 英	教 育 施 設 課 長	吉 永 大 輔
学 校 教 育 課 長	中 尾 聡 彦	指 導 主 事	西 大 輔
学 校 教 育 係 長	内 山 直 樹	学 校 教 育 係	杵 嶋 孝 太

## 6 その他出席者

政策経営部企画政策課企画1係長 西尾 義久

政策経営部企画政策課企画1係員 池田 健吾

## 7 協議事項

(1)	前回の協議会の内容確認 ①諮問事項について ②「第2回学校規模適正化協議会」の協議内容について
(2)	伊万里市立学校規模適正化に係る市・教育委員会の方向性について
(3)	諮問事項についての協議 ①付帯事項となっている、滝野中学校と国見中学校の統合問題について ②今後の伊万里市立学校の在り方について

## 8 その他

次回開催予定 令和2年7月頃

<p>事務局 (学校教育課長)</p>	<p>みなさんこんにちは。 定刻になりましたので、第3回伊万里市立学校規模適正化協議会を開催したいと思います。よろしくお願いいたします。 それでは、協議会会長の挨拶ということで、小杉会長からご挨拶をいただきます。よろしくお願いいたします。</p>
<p>会長</p>	<p>みなさんこんにちは。 本日は大変お忙しい中に、本協議会にご出席をいただきましてありがとうございます。 前回の協議会の意見を集約しますと、「国見中学校、滝野中学校を統合する」については、昭和57年からの懸案事項であり、児童生徒数の減少が極めて著しいことによる児童生徒への様々な影響などへのご意見が多くありました。また、絶対に反対という意見はありませんでしたので、今後は統合の方向で協議を進めてよいのではないかという印象を持っております。 このようなことから、今回の協議会において、諮問事項1「国見中学校、滝野中学校を統合する」については、最終答申案を示すことができればと考えています。 各種団体のいろいろな会議の中でも話題に上がったことだろうと思います。その中で出された様々な意見も、本日の協議会を出していただきながら審議をお願いしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。 それでは、内容に入っていきたいと思います。 3の議事録と議事録署名者の確認ということで事務局からお願いします。</p>

<p>事務局 (学校教育課長)</p>	<p>失礼します。</p> <p>議事録と議事録署名者の確認ということで、まず、第2回の議事録については、みなさんのお手元に配布しておりますのでご確認いただければと思います。</p> <p>また、議事録署名者については前回の協議会において、会長である小杉様と副会長の田中様で署名することを確認しておりましたが、これでよろしいでしょうか。</p> <p>(賛同する声)</p> <p>ありがとうございます。以上で確認を終わります。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>では早速協議に入りたいと思います。</p> <p>(1)の前回の協議会の内容確認ですが、①、②があります。</p> <p>①諮問事項についてということで、毎回、諮問事項については確認をしておりますが、改めまして確認をさせていただきたいと思います。</p> <p>資料の2ページに諮問書を載せております。</p> <p>1前回までの協議会で付帯事項となっている滝野中学校の統合問題について、②今後の伊万里市立学校の在り方についてという2つについてでございます。</p> <p>次に、②「第2回学校規模適正化協議会」の協議内容についてということで、お手元に前回の協議会会議録があると思いますけれども、要約して簡単に報告させていただきたいと思います。</p> <p>先ほどの挨拶の中で少し述べましたが、前回はまず、滝野校の坂本校長より、「滝野校の教育を考える会」の報告がありまして、その後、佐賀大学の上野景三先生に「学校統廃合の在り方について」と題して、ご講話をいただいたところです。</p> <p>次に、「国見中学校、滝野中学校を統合する」ことについて、グループ討議を行いました。</p> <p>いろいろな協議の中で、伊万里市のまちづくりや教育委員会の方針を示してほしいという意見や、学校統廃合に伴う通学の補償についての質問等を</p>

	<p>受けたところでございます。</p> <p>これらについては、この後、それぞれの関係部署よりお話をさせていただくことにしております。</p> <p>協議の中でいろいろな意見がありましたけれども、統合する方向で協議を進めていく必要があるということには、共通理解を得たのではないかと感じております。</p> <p>以上、誠に簡単ですが、前回の協議会の内容についてお話しさせていただきました。</p> <p>みなさんから何かご意見等ありましたらお願いしたいと思います。</p> <p>(なし)</p> <p>会議録については後で目を通していただければと思っております。</p> <p>それでは、(2)の伊万里市立学校規模適正化に係る市・教育委員会の方向性についてということで、最初に企画政策課より伊万里市の方向性についてお話をお願いしたいと思います。</p>
<p>企画政策課</p>	<p>こんにちは。企画政策課の池田と申します。</p> <p>私の方から、伊万里市の方向性について説明をさせていただきたいと思っております。</p> <p>資料の3ページ、4ページをお開きください。</p> <p>前回の会議の中で、「伊万里市のまちづくりの方向性としてコンパクトシティを目指して都市機能を集約していくのか、もしくは分散型を目指すのかということを確認したい」というご意見がありましたので、昨年3月に策定いたしました『第6次伊万里市総合計画』における、まちづくりの方向性についてご説明させていただきます。</p> <p>こちらは、第6次伊万里市総合計画の関係部分のコピーでございます。</p> <p>基本計画の第4節『生活の基盤づくり』の項目のうち、施策19『都市空間の形成』の中で、まちづくりのハード整備に関する施策について、方向性を示しているところです。</p> <p>具体的には、取組方針の1項目『適正な土地利用とコンパクトなまちづくりの推進』の中で、「市街地については、商業、医療、福祉等多様な都市機</p>

	<p>能が集積するコンパクトなまちの形成を促進します。」としており、市街地についてはコンパクトシティを目指し、都市機能を集約していくこととしております。</p> <p>次に、「市街地以外の地域については、各地域の日常生活を支える機能とともに、地域の特性を生かした機能を有するまちの形成を促進します。」とし、市街地以外の周辺地域においても、地域の日常生活を支える機能、これには学校も含まれますが、この機能を有したまちの形成を促進することとしております。</p> <p>さらに、「市街地と各地域を結び、市民の暮らしを支える公共交通等のネットワークづくりを進めます。」としております。</p> <p>なお、ページ下に図を張り付けておりますが、こちらは国土交通省が作成したイメージ図で、総合計画の冊子には載せておりませんが、今回の説明にほぼ合致するというので添付をしております。</p> <p>市街地では、コンパクトシティ化を進め、周辺地域においても、地域内の小さな拠点への都市機能の集約化を進め、これを公共交通で結んでいくという「小さな拠点+ネットワーク」という国が推進している考え方であり、伊万里市もこれを目指して取り組みを進めています。</p> <p>このように、昨年3月に策定しました第6次伊万里市総合計画に基づいて、市街地におけるまちづくりの考え方と、その周辺地域におけるまちづくりの考え方を分けて、それぞれの地域の実情に応じたまちの形成を促進していきたいと考えているところです。</p> <p>以上、説明を終わります。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>では、次に教育委員会の方向性について、事務局からお願いします。</p>
<p>事務局 (学校教育課長)</p>	<p>失礼いたします。</p> <p>学校教育課の中尾と申します。</p> <p>私の方から、教育委員会の学校規模適正化に係る方向性について話をさせていただきます。</p> <p>伊万里市が考える現実的な学校規模、それから中学校区ごとの児童生徒数</p>

の推移、学校統合に伴う通学補償、以上の3点からお話をさせていただきたいと思います。

5ページをご覧ください。伊万里市立学校の現状でございます。

学校教育法施行規則に定められている小中ともに12学級以上18学級以下といいますのは、小学校で1学年2学級以上3学級以下、中学校で1学年4学級以上6学級以下の学校となります。

この標準学級数を満たしていない市内の学校は、小学校で15校中11校、中学校で8校中7校でございます。

続いて、平成24年度に示されました、市が考える現実的な学校規模については、小学校では、複式学級にすぐにはならない規模で、1学年1学級以上、1学級20人程度で、全校で120人程度。

中学校につきましては、全ての学年でクラス替えが可能な複数学級が最低限維持され、かつ、多様な学習形態や部活動等の選択幅が広がりやすい規模として、1学年2学級以上、1学級20人程度で、全校で下限として120人程度とされております。

この条件を満たしていない学校が、小学校で7校、中学校で5校あります。続いて6ページをご覧ください。

今お話をさせていただきました、学校規模との関わりにおいて考えられる小規模学校の一般的なメリット、デメリットを表にしております。

市が考える現実的な学校規模を満たしていない学校においては、ある意味小規模のメリットである『個に応じた指導』、『教師との密接な関係』、『出番の多さ』等がありますけれども、一方では『集団での学習や活動』、前回は話題になっておりましたが『コミュニケーション力の育成』、『固定化された人間関係』、『多様なものの見方や考え方に触れる機会』などの課題も考えられます。

次に、中学校区ごとの児童生徒数の推移について説明をいたします。

児童生徒数の減少と合わせて、現実問題として考えなければいけないのは、校舎の老朽化の問題であります。中には、昭和30年代に建築された校舎があるという現実もございます。

	<p>これらの児童生徒数の減少に伴う学習集団、教育効果、校舎の老朽化という現実的な問題、通学範囲等を総合的に考えて統合の方向で検討していく必要があると、教育委員会としては、今後の方向性を持っているところで</p> <p>す。</p> <p>次に、学校統合に伴う通学補償につきましては、内山学校教育課係長が説明いたします。</p>
<p>事務局 (学校教育係長)</p>	<p>失礼します。</p> <p>資料は8ページをご覧ください。学校統合に伴う通学補償についてです。</p> <p>まず概要として、本市では遠距離児童生徒就学支援事業として、学校統合に伴い、通学距離が小学生で4キロ、中学生で6キロ以上となった児童生徒に対し、通学費を全額補助しています。</p> <p>手段としては、路線バスが運行されている場合は定期券補助、無い場合はスクールバスか人数によっては通学用タクシーを運行している状況です。</p> <p>例外として、滝野地区の一部はガソリン代の補助、東陵中校区は自転車通学をされる方に自転車購入費を定額で補助しております。</p> <p>スクールバスを運行しているところについては、朝1便、夕方2便の運行を行っております。</p> <p>滝野地区で考えますと、児童生徒数の推移としましては、例えば令和4年でいけば(小中学生)合計14名ですが、区域外通学をされている方がいらっしゃるしますので実質12名の児童生徒が補助の対象になるということになります。</p> <p>続きまして、具体的にどのような補償手段が考えられるかにつきましては、主に2点あります。</p> <p>まず1つが現在運行されていますコミュニティバス『元気バス』を活用した定期券の補助、もうひとつはスクールバスを新たに運行するという事です。</p> <p>元気バスの活用につきましては、東山代町の区長会からも活用について要望がっております。</p> <p>元気バスは現在週3日、1日3便の運行となっておりますので、毎日通学</p>



	<p>するには増便が必要になります。</p> <p>また、増便すれば地域の利便性の向上、地域振興等を図ることができますが、現在赤字分を市が補てんするという形になっていきますので、金額上は限度があると考えております。</p> <p>あと、学校の都合に合わせた運行の変更は難しいという点もございます。</p> <p>スクールバスについては、児童生徒の都合に合わせた運行変更ができます。運行委託料が概算700万円と書いてありますが、現在波多津小学校で運行している1台あたりが大体700万円ほどかかっています。青嶺中学校であれば900万円ほどかかっています。</p> <p>これらのことから大体700万円はかかるだろうということで700万円と書いております。</p> <p>なお、当初5年間は2分の1の国庫補助があります。</p> <p>ただ、児童生徒の通学目的であり、国庫補助もありますので、地区住民を乗せることは原則できません。</p> <p>あとは児童生徒数に応じたバスやタクシーを用意するという形になります。以上です。</p>
<p>会長</p>	<p>2つの部署から説明がありましたけれども、まず伊万里市の方向性についてご質問はありますでしょうか。</p> <p>ご意見がないようでしたら、先ほどの教育委員会からの説明について、何かございましたらお願いします。</p>
<p>石井委員</p>	<p>本日は伊万里市区長会連合会の代表として来ておりますが、私は東山代町の区長会長と合わせて元気バス協議会の会長もしておりますので、その辺も含めて質問をしたいと思えます。</p> <p>まず8ページの件です。実は昨年の8月に、区長会の方で市・教育委員会に要望活動を行ったわけですが、教育委員会に対しましては、滝野校の統合時の通学補償において、元気バスを使ってはどうだろうかという提案をしたところですが、教育委員会から回答書が来ておりましたが、その中には、元気バスの活用にはメリット・デメリットがあるので今後検討したいという回答がありました。</p>

私どもも考えてみますと、メリットはわかります。デメリットは何かと協議会でも考えていたところですが、ここに書いているようなものがデメリットなのかというのを今気づいたところですが。

私どもは週3回、以前は毎日走っておりましたが、国土交通省の法改正などがあって週3日しか走られないようになりました。

また昨年で元気バスは10年を迎えました。10年間で赤字は1回もございません。すべて黒字経営です。

そういったことで、通学に使用するとなると毎日走るということになりますので、地域の住民の利便性も上がるということで良いのではないかと思います。

ここにありますが、増便すると当然その分経費がかかりますから、その分赤字ですよね。その赤字部分を市が補てんするため限度があるとありますが、これは当然でしょう。

ただし、別途スクールバスを運行するとなると高額な委託料が発生しますよね。それよりも（元気バスを利用すると）バスを借り上げる必要はありませんからね、赤字分といってもスクールバスを運行させるよりも少額で済むんじゃないかと思います。

前の教育部長と話したときも「当然赤字分は教育委員会が負担せざるを得ないでしょう」とおっしゃっておりました。

そういったことで、増便した赤字分は教育委員会あたりで補てんしてもらう必要があると私ども考えておりますが、ここにある『限度』とはどういう意味なのか。まったく出せないという意味なのか。いくらまでなら出せるのか。

それと、（元気バスは）学校の都合に合わせた運行変更ができないとありますが、私どもは週3日しか走っていませんが、例えば公民館祭りや町民体育大会など大きな行事があれば当然運行しています。

当然、運動会で滝野から通う必要がある場合は元気バス協議会、学校が話し合って運行できると思いますよ。まったくできないことはないです。

ですから、その辺の考えを更にお聞きしたいと思っておりますが、スクール

	<p>バスのデメリットはここに書いてあることがデメリットなのか、元気バスのメリット・デメリットを再度お聞かせください。</p>
会長	<p>学校教育課の方からいいでしょうか。</p>
事務局 (学校教育係長)	<p>まず元気バスの話について、具体的な金額を算出したわけではなく、一般的な話として書いておりました、運行の変更ができることなどは今後また話をしながら詰めていくところだと思います。</p> <p>また、限度と書いておりますけれども、これについても具体的に仕様書などで定めて決まることですので、あくまで一般的なことを書かせていただいております。</p> <p>スクールバスのメリット・デメリットでいけば、デメリットとしては今回の運行形態を定めないとわかりませんが、多額の費用がかかること。</p> <p>メリットとしては、児童生徒用のバスとなるので、路線バスよりは運行変更が柔軟にできることです。以上です。</p>
石井委員	<p>1つ追加で。</p> <p>元気バスは地域公共交通機関の1つですよ。波多津、黒川、大川でも走っていますよね。</p> <p>私は、伊万里市の市民と考える地域交通会議の会長もしておりますが、その中でいろいろ議論をしておりますが、当然スクールバスの話も出ました。その中で、泉副市長が発言をされて、現在スクールバスに多額の費用がかかっているという現状からして、今後は各地域のコミュニティバスの活用も検討していく必要があると発言をされました。</p> <p>これは副市長個人の考えなのかもわかりませんが、この辺は市として話されているのかお尋ねをします。</p>
事務局 (学校教育係長)	<p>私としては、具体的な話は聞いていませんが…</p> <p>ちょっと確認をしますのでこの点については保留でお願いします。</p>
会長	<p>確認に行かれましたので、別のことで何かありましたらお願いしたいと思います。</p> <p>私もよくわかりませんが、波多津の場合は小学校にスクールバスが2台、中学校が1台、それ以外にコミュニティバスが1日3便日曜日を除く毎日</p>

	<p>運行しております。</p> <p>スクールバスを導入するときに、コミュニティバスもありましたが、国の補助の問題、スクールバスになると国が2分の1補助しますので、そういうことで両方のバスがあるのかなと思っています。</p> <p>それ以外のことで何かあればお願いしたいと思います。</p>
<p>松尾委員</p>	<p>7ページの児童生徒数の推移で大川内小学校が基準を満たしていないとありますが、立花町と大川内町にまたがるところに、一説には300世帯の家ができるということで、もう既に着手してあるという話を聞いています。</p> <p>それでいくと、おそらく大川内も増えていくのではないかという気がします。</p> <p>そういう意味では、この生徒数の推移というのはどういった形で出されているのかというのがわからないんですね。</p> <p>立花地区については渚、富士町、南ヶ丘でも戸数が増えると。今の若い世代の人たちが住まれてあるんで、実態はもっと増えるのではないのかという気がするわけです。</p> <p>今は、生徒数の減少で統廃合の問題が出ていますが、立花小学校では既に放課後児童クラブは教室が足りないんで、立花公民館を来年度から使うことになっているわけです。</p> <p>だから、もうちょっと現状を把握した上で計画を立てないと、どうしようもないという気がします。</p> <p>先ほどコンパクトなまちづくり、公園の適正な管理とありましたが、南ヶ丘で89世帯の分譲ができるわけなんです。公園緑地というのは法面です。子どもたちが遊ぶところがないんですよ。89世帯も増える中で。</p> <p>そういうことで、公園もないのに漠然とした計画はナンセンスじゃないのかなと思います。市の開発公社などがきちっと見て、開発公社に意見を募集しないと、子どもたちが遊ぶところがないですよ。学校も校舎も足りませんよ。非常に歪があると思います。</p> <p>ここでは統廃合のことばかりで、増えるところの問題については一切触れてありません。現実的には校舎が足りません。</p>

	<p>そういう現状を教育委員会はどういう風に考えているのか。</p>
会長	<p>教育委員会の方よろしいでしょうか。</p>
事務局 (学校教育課長)	<p>失礼いたします。</p> <p>7ページの児童生徒数の推移につきましては、現在の子どもたちの数、それから今後入学が見込まれる数で示しております。</p> <p>先ほどご指摘があったように、今後宅地が造成されて世帯数が増えてというところまでの見込みはここでは出せておりません。</p>
会長	<p>それでは前の質問のスクールバスについてお願いします。</p>
企画政策課	<p>企画政策課でございます。</p> <p>確認をいたしましたところ、今公共交通を取り巻く現状というのはみなさんご承知の通り、いろんな議論がなされております。</p> <p>市といたしましても、路線バスに対する補助、鉄道も同じく多額の費用がかかっております。</p> <p>地域で運行されているコミュニティバス、こちらの方にも市として支援をしております。</p> <p>このように経費が多くかかる中で、先ほど意見がございました、地域のコミュニティバスをスクールバスに活用することも手法として考えていく必要があるのではないかと考えてはおりますが、より具体的などころまではまだ行き着いておりませんので、地域の実情、各地域のことを考えながら、行政として検討していくべきではないかと思っております。もちろん過程の中で教育委員会との密な協議も必要ではないかと考えております。</p> <p>以上でございます。</p>

<p>会長</p>	<p>それでは今後の検討課題ということでよろしくお願ひしたいと思ひます。 先ほどの質問については以上でよろしいでしょうか。 他に何かございましたらお願ひします。 (なし) よろしいでしょうか。 無いようでしたら、次の(3)諮問事項についての協議とありますけれども、協議に当たっては、前回と同じようにグループ討議をお願ひしたいと思っております。 協議に当たっては、諮問事項の①と②ともに関連した事項にはなっておりますけれども、前回同様①に絞って協議をお願ひしたいと思ひます。 滝野校については、昭和57年からの懸案事項でもあります。 この際、滝野小学校と東山代小学校の統合も併せて協議をお願ひしたいと思ひます。 グループ討議に当たって、一方的で恐縮ですけれども、前回も私の方で各グループの司会を指名させていただいたんですけれども、今回も私の方で指名させていただきますのでよろしくお願ひします。 前回は1番(委員)番号が若い人にお願ひしましたが、今回は(委員)番号が大きい人にお願ひしたいと思ひます。 司会進行の方で発表者及び記録者を決めていただいて、協議を進めていただければと思ひます。 それではよろしくお願ひいたします。</p>
	<p>グループ討議(20分間)</p>
<p>会長</p>	<p>こちら辺で討議を閉めたいと思ひますがよろしいでしょうか。 それでは、それぞれ話し合われたことを出していただけたらと思ひます。 まず第1班お願ひいたします。</p>
<p>1班</p>	<p>失礼します、1班です。 まず、滝野中と国見中の統合については、その(統合の)方向で(進める)ということになりました。ただ、今は統合の話が中心になっておりますが、受け入れる側の体制づくりというのも大事ではないかという話が出ており</p>

	<p>ます。受け入れる側の国見中の体制づくりも協議会として何かしら考えを持って行わなければならないということです。</p> <p>あと話に出たのは、スクールバスを使っても遠い子どもは1時間半くらいかかる子もいて、その時に本人や家族に負担がかかるのではないかと。</p> <p>そういった時に、例えばそれが負担となり不登校になるという心配もあるので、こういうことが起きないような体制づくりが必要という意見が出ております。</p> <p>小学校については、中学校が統合するからそのまま小学校も（統合する）というような安易な考えでは、小学校は（中学校と）条件がいろいろ違いますので、馴染めなかった子のフォローなどしっかりとした体制づくりが必要かなという意見がありました。</p> <p>あと、話の中でまちづくりの話にもなり、コンパクトシティの考え方が進むことで周辺地域の過疎化、限界集落が生まれるといったことにもなるのではないかと心配の声が上がっております。</p> <p>地域の良さを生かしながら、逆に中央から地方の方にバスを出すなど、周辺地域も活発になるような考えも必要じゃないかと思いました。</p> <p>先ほど放課後児童クラブで待機児童がいるとありましたけれど、地方では空きがあるということなので、そういった逆向きのバスを出して、中央から周辺に動くという考え方もあるのではないかと出ておりました。以上です。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>2班お願いします。</p>
<p>2班</p>	<p>2班の方でも話し合いをさせていただきました。</p> <p>統合については前向きな方向でということでございますし、統合しないということにであればそれに対するデメリットが大きすぎるので、できるだけ統合したメリットを活かした方が良いのではないかという話になりました。</p> <p>交通手段等につきましても、コミュニティバス等をうまく利用しながら、できるだけ保護者の方に対する負担等が少なくなるような形をとることが</p>

	<p>適切なのではないかという話でございました。</p> <p>また、交通手段以外でもメリット、デメリットあるかと思います。</p> <p>また、心情的にも地域のよりどころが無くなるという寂しさがありますが、そこも十分に理解を得た上で、そういう心配がうまく解消される形の持っ ていき方もあるのではないかという話になったところです。</p> <p>以上でございます。</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>3班お願いします。</p>
3班	<p>両先生に詳しく説明していただきました。</p> <p>私たちは「(諮問事項の協議は) 前回は終わっていたよね」という文句から 始まりまして、今日はこの場で市や教育委員会の方針を聞くつもりで来て いたので、前回までと同じで「統合の方向で」という話で終わりました。</p>
会長	<p>4班お願いします。</p>
4班	<p>4班は、中学校の統合は仕方がないと、その方向で進んだらいいんじゃないかという話になりました。</p> <p>小学校の方は、地域の人たちも反対する人が多いということで、もうちょ っとゆっくり協議した上で考えてもらいたいと。</p> <p>それと、東山代小学校が老朽化で次に建替えになるときに、滝野小学校の 方も統合を考えるといいんじゃないかという意見も出ていました。</p> <p>やっぱり学校がなくなるというのは、地域のよりどころですので寂しいと いう意見も出ております。</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>私も各班の中でそれぞれの委員さんから、先ほどもありましたけれども、 「協議は前回は終わっていたのでは」と私の方に質問がありました。</p> <p>あるいは、教育委員会の方に尋ねたかったことは、求めていた回答と視点 がずれていたという意見もありました。</p> <p>教育委員会としては、この協議会で諮問を委ねられているということで、 教育委員会の方から「ああして、こうして」とは言えなくて、そこを(協 議会)で考えてくださいということですので、この協議会で統合について</p>



	<p>を議論してほしいと思っているところです。</p> <p>それぞれの班の協議結果を聞きましたけれども、ほとんどが今までの方向（統合）で、あるいは前向きに進めてもらっていいというご意見だったと思います。</p> <p>それと、小学校について、慎重にやるべきではないかという意見がありました。地域の意見は地域の意見としてあろうかと思いますが、本来はこの協議会で小学校まで統合するか決めるべきだろうと思っています。</p> <p>3回協議会を開いたわけですが、来年度になりますと、多分委員さんも何名かは代わられることになると思います。</p> <p>統合すると決めてすぐに統合できるかということ、スクールバスの問題とか校舎の問題とかありますので、地域の了解を得て、事務的な手続きをしなければいけませんので、はっきりしたことはわかりませんが、2、3年先にやっと統合することになるか、そういう見通しを持っているところです。</p> <p>一部には問題もあるようですけれども、諮問事項①について最終答申をしたいと考えておりますがいかがでしょうか。大体了解していただきましたでしょうか。</p> <p>（同意の声）</p> <p>一応、答申書案を作っておりますので、こういうことでよろしいかどうか、よろしいということであれば教育長さんの方に答申をさせていただきたいと思っています。</p> <p>（答申書の内容確認）</p> <p>いかがでしょうか。</p> <p>（同意の声）</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、ただいまから答申をさせていただきたいと思っています。</p>
	最終答申
教育長	<p>ただいま、小杉会長から最終答申を受け取りました。</p> <p>先ほどいろんなご意見聞かせていただきましたし、前回欠席をしております</p>

	<p>したけれども、議事録を読ませていただきまして、それぞれの立場からご意見を賜っているということをご承知したところでございます。</p> <p>この後、教育委員会において、またしっかり検討をしていきたいと思っておりますし、市長部局とも協議を重ねていきたいと思っております。</p> <p>また、最後に出ました「小学校はどうなんだ」という意見についても、時期につきましては検討をさせていただきたいと思っております。</p> <p>また、諮問事項②につきましては、この後またみなさんにご検討いただくこととなりますが、どうぞよろしくお願いいたします。</p>
<p>会長</p>	<p>先ほどありましたように、諮問事項②については、今後の伊万里市立学校の在り方ということで、非常に大きなテーマですので、協議の中でも滝野校の統合の話と絡めて進めていくべきじゃないかという意見も度々出されたところではあります。</p> <p>次の年度におきましては、伊万里市全体の学校の在り方について検討していかななくてはいけないと思っているところです。</p> <p>せっかく上野先生にお見えいただいておりますので、今日の内容なり、あるいは今後の学校の在り方等について何かお話いただけるとありがたいと思っております。</p>
<p>上野委員</p>	<p>私の方からお話ししたいことは、諮問事項の①については議論が深まったかなと思いますけれども、②の今後の伊万里市立学校の在り方についてというところについては、それぞれの班であまり意見交換がなされなかったようです。</p> <p>これまでの感想も含めましていくつか気づいたことについてお話しさせていただきたいと思っております。</p> <p>1つは、人口減少問題を話すときに、企画政策課からご説明がございましたけれども、人が減り、このままでは持ちこたえられませんよという話になってしまうと、結論ありきの話になってしまう。「統廃合が当たり前じゃないの」、「避けて通れないんじゃないの」という話になってしまうんですね。</p> <p>私は教育を専門にしておりますので、人口減少というのは影響をもたらす</p>

という風に思いますけども、学校の統廃合に際してまず何よりも先に考えなければならないのは、子どもたちにとってどうなのか、子どもたちにとって最適な環境とは何かということを考えなければならない。

それを考えた上で、統合もやむを得ない、統合した後もメリットを活かして行ってほしいとか、スクールバスの時間が1時間半を超えるんじゃないかといった話もございましたよね。通学区域にも、文科省は適正な通学時間を定めておまして、スクールバスで60分と定めているわけです。それが90分となるとそれはどうかという話になりますし、先ほど小学校は時期を見てからという話もありました。これは子どもが小学生になったから60分ないし90分のバスに耐えられるかということを考えた時に、小学生の体力と中学生の体力ではやっぱり違うので、そういう観点からの検討も必要ではないかと思います。

なので、統合ありきということを前提にしなかったということは、いろんなご意見をいただいて、これからの伊万里市の子どもたちにとってみて最適な空間とは何かを考える上では、非常に意味のある議論だったと思っております。

それからもう1つは、人口減少の話が出ていて、すぐ学校の統廃合が表に出てきがちですけども、これは数が少なくなるという問題だけではなくて、実はいろんな方面に問題が及ぶことなんですね。それを、伊万里市全体のグランドデザインの中で学校の位置付けを考えていかなければならないのではないかということを、前回お話をさせていただいたところです。

これから将来のことを考えてみた時に、今の小学生の半分以上は間違いなく22世紀を生きる子どもたちになります。2100年代ですね。

その子どもや孫たちが、伊万里に居るかどうかも考えながら、今の学校の話というのも進めていかなければならないだろうと思います。

そうすると、将来的に、学校をどういう形で残していくことができるかということ、次年度以降議論をしていかなければならない。

先ほど子どもの数の減少という話がございました。そして宅地開発の話もございました。

小学校が十数校ありますが、そのうち基準を満たすのは5校くらいしかないわけですね。そうすると10年、20年の間に5校に縮小していくのかどうかという議論も避けられなくなってしまうわけですね。

これから伊万里市で、小学校というのはどういった規模、水準で残していくことができるのか、できないのかを考えていかなければならないと思います。

余談になりますが、私ども今大学でこんな議論をしております。

N高校というのをご存知ですか。全国で1万2千人くらい生徒がいるという話なんですけど、ネットで通信教育を受けることができる高校なんです。では、ネットで高校の単位を履修することを希望する子どもというのはどんな子どもたちだと思われませんか。

すぐ思いつくのは、例えば不登校とか引きこもっている子どもたちがなかなか学校に適應できない。でも、ネットの学校だったらいいんじゃないかと思われる方が少なからずいるのではないかと思います。

びっくりしたのは、フィギュアスケートの紀平選手もここに通っているんだそうです。何故かという、世界中遠征しているから学校に行く暇がないので、練習の合間にタブレットを使って単位を取るということなんだそうです。

これは紀平選手だけじゃなくて、JリーグのU-18の若手の子どもたちもN高校に行って、練習を優先しているという話を聞きました。

最初に聞いたときは、こんなことあっていいのかなと思ったんですが、私どもからするとすごく違和感があるんですが、今の子どもたちからするとそれほど抵抗がないのかもしれない。

この話を聞いたときに、学校というのが、今までのような形では残っていないのかもしれない、通学自体が考えにくくなる時代もそんなに遠くないのかもしれないという風に思います。

ですから、私どもは、どこかで今のような学校を残すかどうかということを頭の片隅において議論をしがちですが、今の技術を考えるといろんな形があるのかもしれないということを考えながら、次年度以降議論していく

必要があると考えております。

最後になりますが、先ほどコンパクトシティの話で市の方から説明があった絵のところがありますよね。これは絵のところだけ張り付けてあるからよくわからない部分もありますが、これは国交省の国土のグランドデザイン2050から持ってきてあるんだらうと思います。

これは何が書いてあるかという、日本全体の国土改造なんです。

実は、東京から大阪までを日本の基幹地域として位置付ける。それ以外が、この絵に描いてあるような環境になっている。

なので、伊万里市でいうと、伊万里市の中心部にコンパクト化が進むということになります。ですから、宅地開発を立花町でされるということは、利便性の高いところで、空間に空きがあるところに巨大な団地を造って、伊万里市の周辺部の方がそこに転居されるというイメージです。

今佐賀新聞で富士町の交通体系の話が出てますけど、住居は中心部に構えて、仕事は実家がある富士町まで行くというような形になっている。

おそらくこれからそういう世界になっていくのかなと想像はできますが、先ほど小さな拠点という話がありましたよね。

伊万里市さんは小さな拠点をどういったイメージで造ろうとされているのかというのは、まだおそらくお持ちではないだらうと思います。

小さな拠点の成功事例がありまして、学校を統廃合した後の学校区単位で造ってあるところが多いです。九州でリストアップしたのを見ましたが、旧小学校区とか、旧中学校区とかで造ってあるところが多いです。

ではその拠点は何が担うのか。学校を再利用するのか、公民館なのか、まったく別の何かか担うのか。そういう議論がこれから進むと思います。

先ほど心のよりどころという話がありましたが、これは単なる気持ちの問題ではなくて、学校区というのはものすごく大事だということなんです。

それが、人々が生活する1つの基本単位という意味で、学校区というのは大切にしていける必要があると思います。

それから、最後3つ申し上げますけれども、1つ目がですね、東山代公民館で講座をやらせていただきました。アバンセとのコラボレーションで

ットラック東山代というのを行いました。

私もからしたら、東山代というのはまだまだ人間味があって、みなさんが顔見知りでというイメージを持っているんですね。私もそうってお邪魔をいたしました。

ポットラックとは何かというと、一品持ち寄りという意味で、家にある残り物をみんなで持ち寄って、それを食べながら楽しく会話をするというような企画なんですね。

それをやった時に、集まってこられる方が顔は見たことあるけど話したことはないという人がほとんどだったんです。

つまり区長さんのラインで、老人クラブのラインで人を集めていないんですね。

東山代に住んでおられる方が30～40名集まっていただきました。若い方から年配の方までいらっしゃいました。みなさんとっても楽しそうに話をしていらっしゃいました。最初はぎこちなく挨拶程度だったんですが、お茶を飲みながら話が弾んで、まるで昔からの友達のように話をされました。

私はそういった姿を見ながら、人間関係というのは自然に出来上がると思ったら大間違いだろうと思いました。

つまり、私たちの先輩方はそういう自然なつながりというのが随分あったと。「PTA会長はあんたがせんばやろ」と言われて決まっていた時代がある。でも今の保護者さんたちでは、自動的に決まるということはもはやない。PTAの活動は不要という方も出てきている。

しかし、まだそういった地域的な雰囲気が残っている中で、どうやって人と人とを繋げていくことができるかということを、伊万里市内で、それぞれの校区で、学校だけではなく、公民館などが中心となって人と人とを繋げるような取り組みをしないと、10年20年後にはほとんどが顔は知っているけど面識はないという関係になっていくだろうと思います。特に新しく宅地開発されたところはそうだろうと思います。

最後になりますが、コンパクト化はやむを得ないと考えたとしても、人口

	<p>が減少するからやむを得ないという議論だけでは済まされないのが福祉の領域なんですね。</p> <p>高齢者の人たちも中心部に集めてはどうかという乱暴な議論をする医療関係者の人たちも中にはいます。けれども、自分の住み慣れたところで終の日を迎えたいという人もいらっしゃるわけですね。</p> <p>そうすると、その小さな拠点の作り方が大事だと申しあげましたのは、国交省はコンパクト化と言いますが、厚生労働省は地域共生社会と言うわけですね。お互いにどうやって支え合いながら、地域で考えていこうということを提唱しております。国交省とは少しずれた議論になってはいますが、そういった住みやすい、子どもたちが育ちやすい地域社会づくりというものを、学校の統廃合、規模適正化という統廃合のイメージが先行しますが、学校をどう創っていくのかという議論と重ね合わせながらしていく必要があると思って、この第3回の会議を聞かせていただきました。</p> <p>以上でございます。</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、5その他に移ります。</p> <p>事務局の方からお願いします。</p>
事務局 (学校教育課長)	<p>次回の開催予定日につきましては、年度が替わりますと委員の方々の交代もあるかと思えます。</p> <p>4月以降に改めてご案内させていただきたいと思えます。</p> <p>現在のところ7月を予定したいと考えております。以上です。</p>
会長	<p>では、閉会ということで副会長にお願いしたいと思えます。</p>
副会長	<p>みなさまのご協力で最終答申に辿り着くことができました。誠にありがとうございました。</p> <p>以上を持ちまして第3回協議会を閉会いたします。</p>
	<p>《閉会》</p>